

みなみ風

第185号(通算)
2024年2月
日本共産党越谷南後援会
発行責任者 舟山幸吉
☎048-985-1908

話し合いで党の方針を決め実践する努力に感動

◆ 第29回党大会に参加して 工藤秀次議員 ◆

会場で笑顔の工藤秀次議員



後ろで手を振る志位議長と小池書記局長

日本共産党第29回党大会が1月15日から18日の4日間おこなわれました。越谷から工藤秀次議員が参加しました。その感想を投稿していただきました。



田村智子新委員長

党大会には全国から650人の代議員と200人の評議員、外国大使館や民主団体から多くの来賓が参加しました。わたしははじめての参加でした。

党大会の大部分は討論が中心で、一人8分で60人が発言しました。その他約200人の代議員が発言を準備し、発言できない代議員の文章は幹部団に提出しました。さらに、大会には1900件の意見が寄せられ冊子も発行され、党に批判的な発言を妨げずそのまま掲載されました。2カ月間にわたり地域支部や市町村、都道府県で会議をおこない、大会決議案を議論し練り上げてきました。党大会を成功させるための全党の努力を感じました。これほど長期間にわたって党の活動を総括し方針を提案することができ

る国政政党は、日本共産党以外にはありません。

また、大会に参加して一番感動したのは、党の民主的運営に努力する姿勢です。中央委員会の選挙では、田村智子、志位和夫、小池晃といった党幹部に対して信任するか否かの選挙をすべての代議員がおこないます。こうした大会運営も民主的で感動的でした。

最後に、田村智子委員長が選任され、不破哲三さんが中央委員を退任することが紹介されると、会場から拍手が鳴りやまなかったことも印象的でした。これまでの苦勞に対する激励や、これからの期待で、会場が一つになったそんな気がしました。多くの感動と学びのあった大会でした。

世界に逆行する 日本のエネルギー政策

2月5日午後から降り始めた雪は、日没頃から道路を白く染めました。

気候変動により、冬には大雪で日本海側のドカ雪が往来する車を度々、立ち往生させています。そのことを思い浮かべながら、ボタン雪が舞う県道49号線を低速走行し、出先から帰宅したのは夜7時のこと。

再エネの出力抑制

あらためて、気候危機のことを考えました。地球温暖化ガス・CO₂を発生させる一番の原因は石炭火力発電所です。そのため化石燃料を産出する国以外は、廃止していく方針を明らかにしている国がほとんどです。しかし日本政府は石炭火力発電をアンモニア混焼技術で、CO₂発生を減少させることができるとして、維持しようとしています。しかしアンモニアを生産する際に電気を使うので、CO₂が発生し矛盾しています。立ち遅れた方針です。

さらに発電した電力供給が、需要を上回った場合は出力抑制することになるのですが、「電力使用順位」は火力発電、原子力発電を優先し、再生可能エネルギーの電力は後回しにして、捨てているという、とんでもない政策がとられています。



EUは発電を出力抑制する場合、火発、原発が後回しになります。

日本ではせっかく、再エネ発電しても無駄になる発電量というのは、23年度の場合、17億6000万キロワット時の見通して、「NPO法人自然エネルギー市民の会」の試算では、「約41万世帯の年間消費量に相当する。家庭での平均電力料金(約27円/キロワット時)をかけると475億円分の価値がある」としています。同会は、再エネの出力抑制は、発電に必要な燃料代がほぼゼロの電力を無駄に捨てることであり、無制限、無補償で実施されるため、再エネ発電設備の所有者に不利益をもたらすと批判しています。

電力会社の利益優先政策はNO

前号で越谷市議団の「ソーラーシェアリング視察(写真)」を掲載しましたが、農家が電力を作っても売電価格が低下しているのは、電力会社と政府の思惑なのだと感じました。再エネ、省エネ政策を越谷市から考えていかなければならないと思います。

第70回グラウンドゴルフ交流大会を開催

1月13日(土)絶好のグラウンドゴルフ日和に33人が集まり、日頃の腕を競いました。いつも上位にいる人が多たきをする番くるわせもありましたが、怪我もなく終了しました。

優勝は高橋勇さん79打ホールインワン1本、準優勝は斉藤博さん80打ホールインワン2本、第3位は町田英二さん81打ホールインワン2本。なんとブ

ービーはまたもや大和田議員でした。ホールインワンは12人で15本でした。



日本共産党と後援会の 新春のつどい

2024

日本共産党は第29回党大会を終了し、田村智子新委員長を先頭に、「自民党政治を終わらせ、日本共産党ここにあり」という姿を見せていくために、越谷市の党と後援会では「新春のつどい」を開催します。

ニュース読者のみなさんもぜひご参加ください。

2月24日(土)14時から
越谷コミュニティセンター
ポルティコホール
参加協力券 500円

弁士



伊藤岳
参議院議員

文化行事



津花幸嗣さん
越谷市出身
アコーディオン奏者

参加協力券は大和田さとし事務所(918)4994にあります。連絡ください。

3月議会のお知らせ

- 2/26 開会
- 3/4 代表質問
(日本共産党は15時頃の予定)
- 3/18 最終日

傍聴にしてください

スペースあさひ 名作シネマ
上映会のお知らせ

砂の器

出演：加藤剛 丹波哲郎 島田陽子他

3月 9日(土) 14時

会場 スペースあさひ

(大和田さとし事務所2階)

参加希望の方は下記まで連絡
ください。

蒲生旭町 4-14

☎ 048(918)4994

蒲生句会

(一月)

旅始安産祈願の穴ひしゃく

みやび

木枯や泣く少年の背を摩る

つぐみ

冬木立日だまりさがす散歩猫

さくら

少年の全力疾走初菫

權

投句

二月燃ゆ党首かソー理七変化

路

本・その外延 ⑦

『いのちの初夜』①

前号までハンセン病患者の強制隔離政策とのたたかいに生涯をささげた日本共産党員詩人・羽雄二の歩みを辿ってきました▼わが国には療養文学というジャンルがあり、小説に限らず多くの文学作品を輩出してきました。そのひとつに「ハンセン病文学」があります▼しかし、「ハンセン病文学」は、「結核」などの闘病文学とは作品世界を異にしています。それは著しい偏見と差別がもたらした異質の文学ということができます▼数多のハンセン病文学の中で、完成度の高さで突出した作品として今日も読み継がれているのは「いのちの初夜」です。

作者は 23 歳という若さで世を去った北條民雄。直接の死因は腸結核でした▼主

人公は尾田高雄というハンセン病に罹患した患者。作品は、彼が療養所に入所した僅か一夜の物語です。その舞台はおそらく作者・北條自身が入院した東村山村の全生病院(現・国立療養所多摩全生園)と思われます▼作品の執筆当時、ハンセン病の治療薬は未開発でした。潜伏期間が非常に長く感染経路をたどることが困難でした。このために遺伝病という誤解が広まり、医療関係者もその風評の元に置かれました▼今日でいうエビデンスを欠いた強制隔離政策、それがもたらす偏見・差別が患者の人権を奪ったのです▼「いのちの初夜」は、そうした社会背景の中で生みだされた作品であり、「不治の病」への恐怖と絶望が描かれています。しかし、作品は絶望感一色に彩られているわけではありません。

【中西權】